

令和 5 年度の決算の状況について



1 一般会計 ～令和 5 年度の実質収支額は 1 7 億 1, 2 8 6 万円の黒字です～

本市の令和 5 年度の歳入は629億9,141万円。歳出は608億4,897万円で、差し引き額（形式収支）は21億4,244万円の黒字です。そこから翌年度に繰り越すお金である4億2,958万円を差し引いた額（実質収支）は17億1,286万円の黒字になりました。

■歳入について

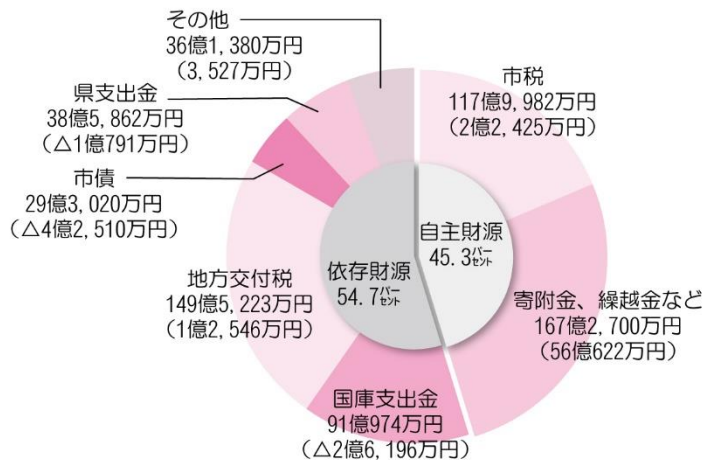
歳入を前年度と比較すると、自主財源の代表的なものである市税は2億2,425万円（1.9%）増加し、自主財源全体では、寄附金の増加などにより58億3,047万円（25.7%）増加しました。

依存財源の代表的なものである地方交付税は1億2,546万円（0.8%）増加し、依存財源全体では市債の減少などにより6億3,425万円（1.8%）減少。歳入全体では、51億9,623万円（9.0%）増加しました。

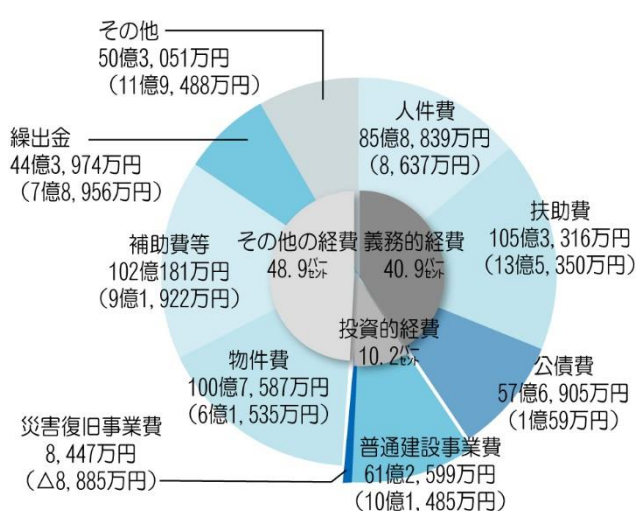
■歳出について

歳出を性質別で前年度と比較すると、義務的経費は、価格高騰緊急支援給付金の給付などによる扶助費の増加により15億4,046万円（6.6%）増加し、投資的経費は、桜台小学校の長寿命化対策など小学校施設維持事業費の増加などによる普通建設事業費の増加により、9億2,600万円（17.5%）増加しました。その他の経費は、イーハトーブ花巻応援基金積立金を新たに設けたことなどによる積立金などの増加により、35億1,901万円（13.4%）増加し、歳出全体では59億8,546万円（10.9%）増加しました。

R5年度歳入：629億9,141万円



R5年度歳出：608億4,897万円



※カッコ書きは前年度比の数値

■R5年度の主な事業の概要

（決算額のうちカッコ書きの数値は、前年度予算から繰り越された事業の決算額です）

分野	事業名	決算額	事業概要
しごと	道の駅「石鳥谷」施設再編事業	7,988万円 (7,390万円)	道の駅「石鳥谷」の施設整備が全て完了し、令和 5 年 7 月にリニューアルオープンしました。
	企業誘致推進事業	3億5,330万円	産業団地などに立地する企業の増設に係る補助金を交付しました。また、民間事業者が行う産業団地の整備に対する補助制度を新たに創設するなど、市内に立地する企業への支援を行いました。
	産業団地整備事業	3億102万円 (3億102万円)	花南産業団地の実施設計や用地買収を実施し、造成工事に着手しました。

分野	事業名	決算額	事業概要
暮らし	J R 花巻駅東西自由通路等整備事業	42万円	J R 東日本と基本設計協定を締結し、東西自由通路整備の基本設計に着手しました。また、市民ワークショップや有識者会議などでいただいた意見を踏まえ、駅舎および東西自由通路のデザイン案を決定しました。 ※ J R 東日本に対する基本設計負担金6,713万円のうち令和5年度分は35万円です。
	花巻スマートインターチェンジ整備事業	8,658万円 (2,297万円)	花巻 P A スマートインターチェンジの整備を行い、令和6年3月に開通しました。
人づくり	医療費助成事業	4億8,457万円	乳幼児、小中学生、高校生、妊産婦などの医療費助成を行い、医療機関窓口での支払い負担を軽減しました。 ※令和5年8月から市内の小中学生、高校生などの医療費について、本年4月から妊産婦の医療費について、従来の所得制限を撤廃しました。
	保育サービス向上支援事業	1億4,786万円	延長保育や一時預かりなどの保育サービスの充実を図ったほか、認可外保育施設を利用する、3歳未満で第2子以降の保育料を全額補助しました。
	母子保健事業	9,084万円	妊産婦・乳幼児の健康診査や健康教室などのほか、母子の心身の健康をサポートする「産後ケア事業」「産前・産後サポート事業」を実施しました。
	保育施設環境整備支援事業	3億2,149万円	令和6年4月に開園した「いしどりやこども園」の整備など、法人が行う施設整備費用に対し補助しました。
	第3子以降副食費等負担軽減事業	1,302万円	市内に住所があり、保育施設などを利用する第3子以降の子どもにかかる副食費などを補助しました。
づくり地域	定住促進事業	5,598万円	子育て世帯や移住希望者の市内における住宅取得などを支援するため、奨励金や補助金を交付しました。

新型コロナウイルス感染症対策・物価高騰対策経費

~令和5年度は21億3,014万円で対策を行いました~

感染症の予防や感染症の影響を受けている市民などに対する支援に加え、物価高騰対策に早急に取り組む必要があったことから、数回にわたり補正予算を編成して対応しました。
 その結果、令和5年度にコロナ対策・物価高騰対策として使われたお金は、21億3,014万円となりました。そのうち市の一般財源は3億611万円で、残りは国や県の補助金などを活用しました。

■コロナ対策として

ワクチン接種や勤労者への資金貸し付けなどの支援、社会福祉法人などの施設整備経費に対する補助、児童福祉施設の物品購入などの支援を行いました。

■物価高騰対策として

非課税世帯や低所得の子育て世帯などに給付金を給付したほか、中小企業や貨物運送事業者、畜産農家、タクシー・乗合バス事業者、貸切バス事業者などの事業継続支援などを行いました。

■R5年度のコロナ対策・物価高騰対策事業の経費内訳

(決算額のうちカッコ書きの数値は、前年度予算から繰り越された事業の決算額です)

分野	事業名	決算額	事業概要
対策 コロナ	新型コロナウイルスワクチン接種事業	2億9,613万円	新型コロナウイルスワクチンの接種を行いました。

分野	事業名	決算額	事業概要
コロナ対策	勤労者福祉向上事業	51万円	新型コロナ流行時の令和２年度に教育資金の貸し付けを受けた勤労者に対し、返済に係る利子の支援を行いました。
	高齢者福祉サービス基盤整備事業	820万円	高齢者福祉施設における感染拡大防止対策のため、多床室の個室化改修や簡易陰圧装置の設置に係る経費を支援しました。
	児童福祉施設等感染拡大防止事業	360万円	児童福祉施設（保育園など）での感染防止対策を推進するため、マスクやゴム手袋などの感染防止用物品の購入に対し補助しました。
	感染症予防緊急対策事業	116万円	消毒用アルコールや抗原検査キットを確保し、感染拡大の防止を図りました。
	失業者支援事業	20万円 (20万円)	失業した人の生活を支援するため、見舞金を給付しました。
物価高騰対策	価格高騰緊急支援給付金給付事業	10億5,248万円	物価高騰の影響を受けている住民税非課税世帯などに対し、給付金を給付しました。（１世帯あたり最大10万円）
	中小企業持続支援事業	4億3,178万円 (1億6,538万円)	市内事業者の事業継続を図るため、キャッシュレス決済「PayPay」のポイント付与キャンペーンを行いました。また、貨物運送事業者への運行支援緊急対策交付金の給付や、中小企業の地代・家賃補助などを実施しました。
	修学児童・生徒世帯生活応援事業	6,816万円	高校入学および大学進学などに伴う支援金を給付しました。（高校３万円、大学など５万円）
	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	5,030万円	低所得の子育て世帯などに対し、給付金を給付しました。（児童１人あたり５万円）
	飼料購入緊急支援事業	4,917万円 (1,074万円)	畜産農家に対し、配合飼料および乾牧草の購入費用の一部を支援しました。
	公共交通事業者緊急対策事業	1,894万円	タクシー・乗合バス事業者に対し、運行支援緊急対策交付金を給付しました。
	農業資材等高騰緊急対策事業	390万円 (390万円)	園芸作物を生産している農業経営体に対し、肥料の購入経費を支援しました。
	花巻米生産緊急支援事業	8,606万円 (8,606万円)	主食用米などの生産者に対し、出荷に必要な肥料や種子などの生産に係る経費を支援しました。
	公共交通確保対策事業	1,623万円	市内を運行する路線バス車両への交通系ＩＣカードシステム導入に係る経費を支援しました。
	ごみ処理事業	844万円	一般廃棄物収集運搬許可事業者に対し、燃料費高騰対策支援金を給付しました。
	保育施設等物価高騰対策事業	813万円	私立保育園などに対し、食費・光熱費の支援金を給付しました。
	観光・物産事業者等緊急対策事業	1,337万円 (665万円)	貸切バス事業者に対し、燃料費高騰対策支援金を給付したほか、市内温泉宿泊施設などを利用した際の料金を助成しました。
	その他	1,338万円	県の補助事業の対象とならない社会福祉施設などに支援金を給付したほか、私立高校に対する県事業の上乗せ補助などを行いました。

令和５年度イーハトーブ花巻応援寄附金（ふるさと納税）の活用状況

令和５年度は、ふるさと納税の制度を活用し、全国の皆様から約61万件、金額にして約90億3,427万円もの寄付をいただきました。

寄付金のうち、約45億9,626万2千円は、寄付の受け入れに係る事務費（返礼品調達費用や各ポータルサイトの利用料など）に充当し、残る約44億3,800万円8千円は、寄付者が希望した使い道に応じて、次の事業などに充当しました。

使途	充当額	内容
①仕事いっぱい、雇用いっぱい、活力に満ちたまちづくり	6億2,400万円	自動操舵システムや農業用ドローンなどのスマート農業機械の導入に対する支援、市内に立地する企業の新規事業等に対する支援などに活用しました。
②自然豊かな地域でともに支え、誰もが安心して、いきいきと快適に暮らすまちづくり	9億2,699万6千円	乳幼児、小中学生、高校生等の医療費助成のほか、公園の整備や道路の維持補修、危険交差点の安全対策、高齢者や障がいのある人の買い物や通院に係るタクシー代などの交通費の支援などに活用しました。
③郷土を愛し、丈夫な体と深い知性を持つ心豊かな市民が育つまちづくり	9億2,287万5千円	学童クラブの施設整備や、小・中学校施設、体育館や野球場といったスポーツ施設の改修工事のほか、保育施設などに通う第３子以降の副食費についての全額支援などに活用しました。
④すべての市民が手と心をつなぎ、個性あふれるまちづくり	3億4,400万円	市外から移住する子育て世帯が花巻市内に住宅を取得に係る費用の支援の一部として活用したほか、各コミュニティ会議に交付される地域づくり交付金の一部支援などに活用しました。
⑤市民目線で経営する強くて優しいまちづくり	1億1,600万円	広報はなまきの発行費用や、コミュニティFM番組の制作等、市政情報の発信等に要する経費に活用しました。
⑥市長におまかせ	15億円	寄付金の使途として、「市長におまかせ」を希望された寄付は45億9,917万7千円ですが、そのうち23億8,078万4千円は寄付の受け入れに係る事務費（返礼品調達費用や各ポータルサイトの利用料など）に充当、7億1,839万3千円は上記の使途①～⑤の事業へ充当し、残りの15億円はイーハトーブ花巻応援基金に（貯金）に積み立てました。 このイーハトーブ花巻応援基金に積み立てた15億円は、令和６年度において、小・中学校施設維持事業費、企業誘致推進事業費、生活道路維持事業費、花巻米生産転換緊急支援事業費などの事業に充当し、活用する予定です。
⑦ウクライナ人道危機救援金への寄付	413万7千円	日本赤十字社「ウクライナ人道危機救援金」へ寄付を行いました。

※充当額については、端数処理の関係で千円未満を切り捨てて表示しています

2 特別会計および公営企業会計の決算について

■特別会計について

特別会計とは、特定の目的のために保険料や使用料などの特定の収入で運営していく事業の会計です。お金の出し入れをはっきりさせるため、一般会計とは別に管理しています。

本市には、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・公設地方卸売市場事業、産業団地事業の５つの特別会計があり、それぞれの会計で決算が行われています。

■R5年度の特別会計決算の総括表

会計名	歳入	歳出	差引残額
国民健康保険	84億1,887万円	84億1,791万円	96万円
後期高齢者医療	22億6,521万円	22億6,355万円	166万円
介護保険	108億6,151万円	107億7,193万円	8,958万円
公設地方卸売市場事業	4,284万円	3,859万円	425万円
産業団地事業	7億718万円	6億4,851万円	5,867万円
合計	222億9,562万円	221億4,048万円	1億5,514万円

■公営企業会計について

公営企業会計とは、特別会計の中でも複式簿記により経理を行う会計です。本市では、下水道事業がこれに該当し、公共下水道事業・農業集落排水事業・戸別浄化槽事業を一体的に管理しています。

■R5年度の公営企業会計決算の状況

項目		公共下水道	農業集落排水	戸別浄化槽	合計
収益的収支 (税抜き)	収入	23億3,453万円	9億538万円	1億8,361万円	34億2,352万円
	支出	22億6,151万円	8億7,901万円	1億8,407万円	33億2,459万円
	純利益	7,302万円	2,637万円	△46万円	9,893万円
資本的収支 (税込み)	収入	12億536万円	7億2,636万円	905万円	19億4,077万円
	支出	22億925万円	10億5,827万円	3,492万円	33億244万円
	不足分	10億389万円	3億3,191万円	2,587万円	13億6,167万円

※不足分は、当年度分の留保資金などから補てんしています

3 本市の財政状況 ～全項目で健全化基準をクリアしています～

財政状況が良好かどうかを示す指標に、財政健全化判断比率（4分類）と資金不足比率があります。
国が示すこの指標の判断基準により、市の財政が【健全団体・早期健全化団体（要注意状態）・財政再生団体（破たん状態）】のいずれの状態にあるか、また各会計の経営がどのような状態になっているのかを判断することができます。この指標のうち一つでも基準値以上になった場合は、それぞれ法で定められた計画の策定を行い、財政の健全化に向け取り組んでいく必要があります。
本市では、基準値以上となる項目はなく、財政状況は健全ですが、今後も引き続き無駄のない財政運営に努め、一層の財政の健全化に取り組んでいきます。

■財政健全化判断比率

区分	花巻市のR5年度の数値 (カッコ内はR4年度数値)	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	— ^{パーセント} (— ^{パーセント})	11.86 ^{パーセント}	20 ^{パーセント}
連結実質赤字比率	— ^{パーセント} (— ^{パーセント})	16.86 ^{パーセント}	30 ^{パーセント}
実質公債費比率	8.7 ^{パーセント} (8.4 ^{パーセント})	25 ^{パーセント}	35 ^{パーセント}
将来負担比率	44.4 ^{パーセント} (50.2 ^{パーセント})	350 ^{パーセント}	

実質赤字比率：普通会計（一般会計など）の赤字比率
連結実質赤字比率：市の全ての会計（普通会計・特別会計・公営企業会計）を含めた赤字比率
実質公債費比率：市の全ての会計に一部事務組合などの会計を含めたもので、公債費の財政負担を見るための比率
将来負担比率：市の全ての会計と一部事務組合などの会計に第3セクターなどの会計を含めたもので、普通会計が将来、財政負担する実質的な負債（借入金残高など）を見るための比率。
本市の将来負担比率44.4%のうち30.3%は、公営企業会計である下水道事業会計に係る市債の負担であり、高い比率を占めています。

■資金不足比率

会計名	花巻市のR5年度の数値 (カッコ内はR4年度数値)	経営健全化基準
公設地方卸売市場事業	— (—)	20
産業団地事業	— (—)	20

※表中、各基準は国が示した数値です
※赤字額、資金不足がない場合は、「—」で表示しています

4 一般会計の基金（貯金）および市債（借金）の状況

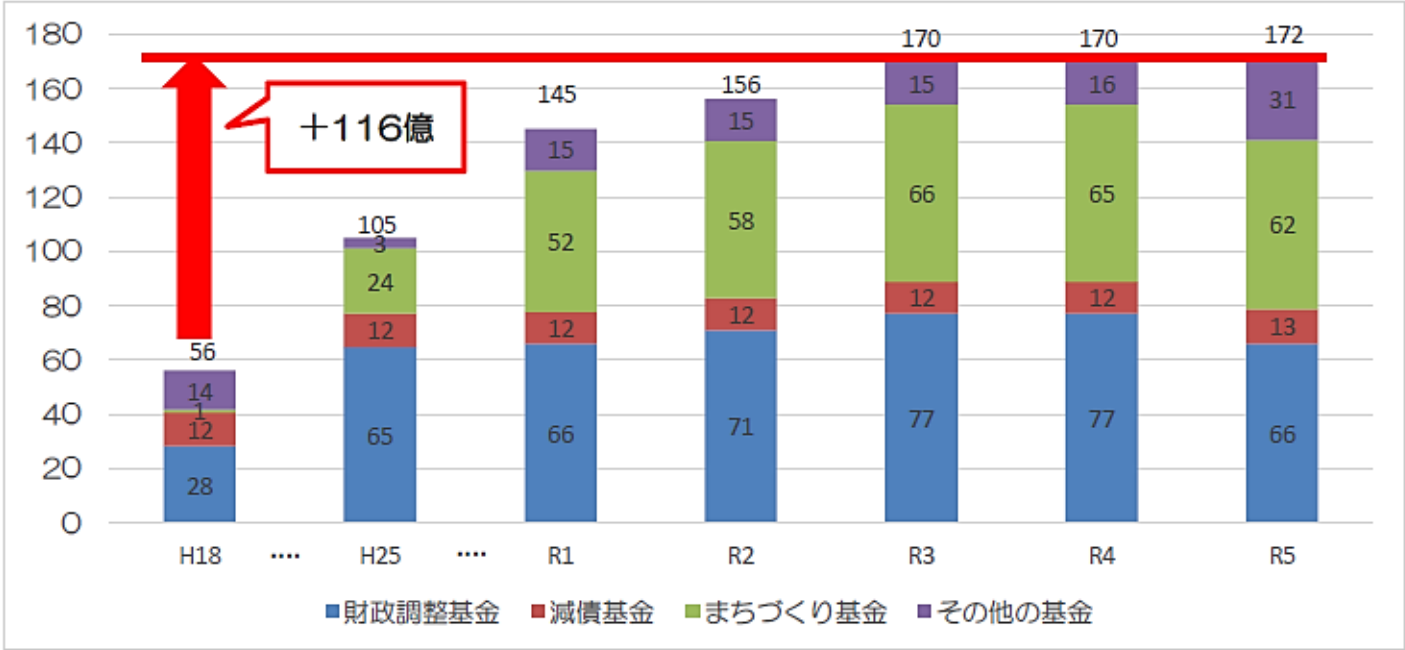
■基金の状況

項目	R 4 年度末 現在高 (a)	R 5 年度期中異動			R 5 年度末 現在高 (e = a + d)
		積立 (b)	取崩 (c)	増減 (d = b - c)	
財政調整基金	77億2,490万円	10億5,272万円	21億8,552万円	△11億3,280万円	65億9,210万円
減債基金	11億6,283万円	1億2,558万円	417万円	1億2,141万円	12億8,424万円
まちづくり基金	65億2,870万円	987万円	3億262万円	△2億9,275万円	62億3,595万円
その他（※）	15億6,546万円	15億3,713万円	1,321万円	15億2,392万円	30億8,938万円
合計	169億8,189万円	27億2,530万円	25億552万円	2億1,978万円	172億167万円

※その他…福祉対策基金、イーハトーブ花巻応援基金、土地開発基金、奨学基金など

■基金の推移

(単位：億円)



市債の状況

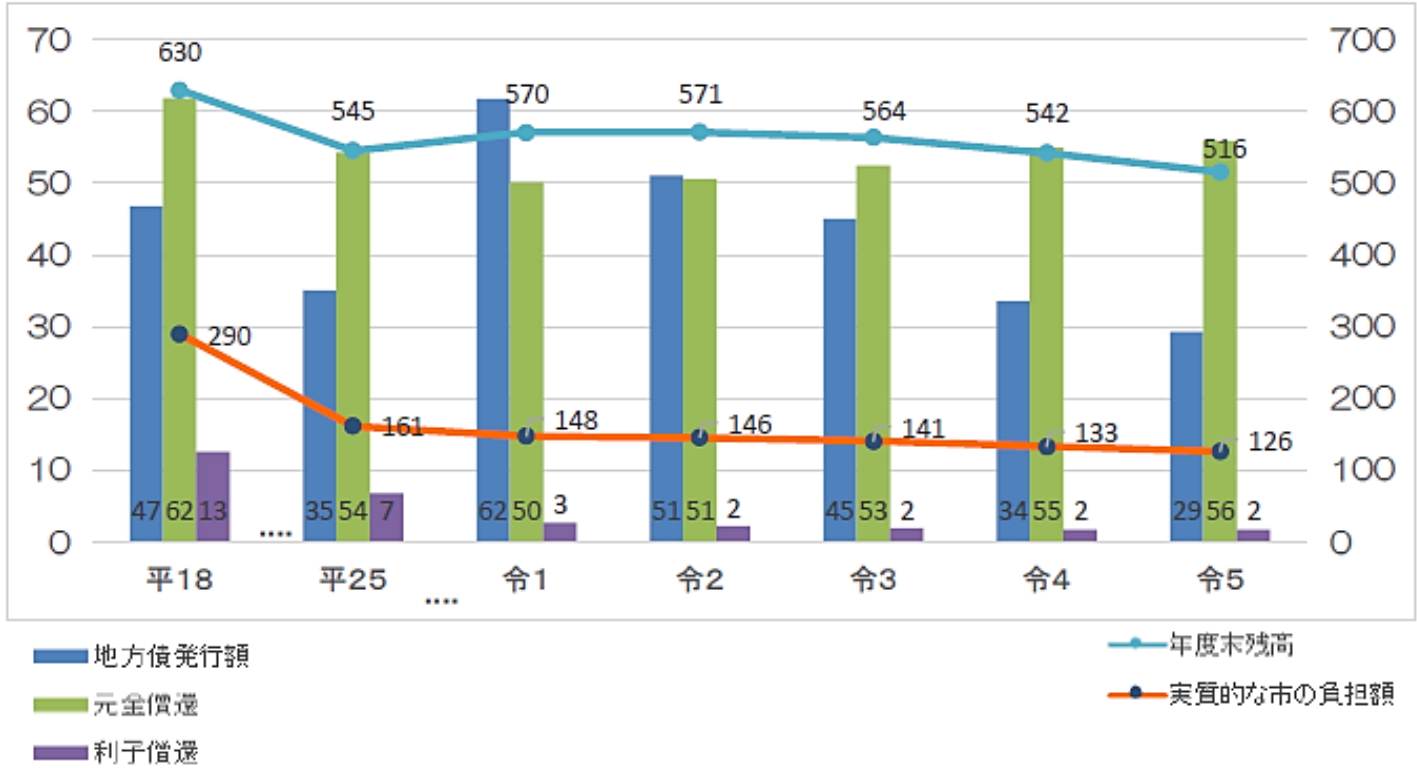
R 4 年度末 現在高 (a)	R 5 年度期中異動			R 5 年度末 現在高 (e = a + d)
	発行額 (b)	元金償還額 (c)	増減 (d = b - c)	
542億2,082万円	29億3,020万円	55億9,456万円	△26億6,436万円	515億5,646万円

令和 5 年度に29億3,020万円を新たに借り入れ（地方債の発行）て、55億9,456万円を返済（元金の償還）したことにより、令和 5 年度末の一般会計における市債残高は515億5,646万円となっています。

※市債の発行は原則として、公共施設の建設など資産形成を伴うものの費用に充てる場合に限られます

市債の推移

(単位：億円)



一般会計の市債残高は、合併時の平成18年度630億円と比較すると114億円減の516億円となっています。また、市債残高のうち後年度に地方交付税として受けることができる額や、民間企業に貸付けを行う場合に発行する地域総合整備資金貸付事業債（後年度、民間企業より市に償還される）分を除いた実質的な市の負担額は、平成18年度の290億円から164億円減の126億円にまで減少しています。